

令和7年度
学校評価
- 報告書 -

保護者、生徒及び教職員によるアンケートが集計できましたので、その結果をお知らせいたします。これらの結果やお寄せいただいたご意見をもとに、次年度の学校運営に生かして参ります。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



令和8年2月
浦庄小学校

学校評価アンケートの結果について

令和7年度学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。PTA71件中、43件(61%)の方からご回答をいただきました。結果につきましては、今後の本校教育の改善と充実に活用させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

※保護者アンケート結果

A：とても思う B：そう思う C：あまり思わない D：まったく思わない

| No. | アンケート内容 | A | B | C | D | A×2+B |
|-----|---|-----|-----|-----|----|-------|
| 1 | お子さまは授業に集中できていると言っている | 5% | 88% | 7% | 0% | 98P |
| 2 | お子さまは授業の内容を理解できているようだ | 7% | 72% | 21% | 0% | 86P |
| 3 | お子さまは授業中よく発表していると言っている | 2% | 44% | 54% | 0% | 49P |
| 4 | お子さまは授業中、友達の意見を聴くことができていると言っている | 5% | 91% | 5% | 0% | 100P |
| 5 | お子さまは学校が楽しいと言っている | 30% | 63% | 7% | 0% | 123P |
| 6 | お子さまは友達と仲良くできている | 21% | 72% | 7% | 0% | 114P |
| 7 | 校内や学級の掲示は学習の取り組みがよく表れるよう工夫されている | 26% | 70% | 5% | 0% | 121P |
| 8 | 教室は整理整頓されており、清潔感を感じる | 23% | 72% | 5% | 0% | 119P |
| 9 | 校舎内外の施設設備の補修・整備が整い、安全な教育環境が保たれている | 12% | 77% | 12% | 0% | 100P |
| 10 | 学校はお手紙や、通信、ホームページなどを通して教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている | 14% | 72% | 14% | 0% | 100P |
| 11 | 担任の先生は学校での様子や学習の内容などを懇談や学級通信、電話連絡等を通してわかりやすく伝えている | 16% | 74% | 9% | 0% | 107P |
| 12 | 学校が保護者等に出す文書・事務連絡は適切であり学校の活動の様子がよく分かる | 14% | 72% | 14% | 0% | 100P |
| 13 | 学校が行っている保健・安全対策は、適切である | 12% | 84% | 5% | 0% | 107P |

※四捨五入の都合上、合計が100%にならないこともあります

○お子さまの学校生活や家庭生活について

(ポイントは、A×2+Bで算出)

児童アンケートにおいてもほぼ同様の結果が見られ、子どもたちは学校生活を概ね楽しめている様子が見えます。来年度以降も、子どもたちにとって魅力ある行事や校外活動を含めた学校生活となるよう、引き続き工夫・改善を重ねてまいります。以下は、児童用アンケートの考察です。

「宿題は、必ずしている」(159P)、「学校での様子を手紙や電話で伝えている」(147P)、「進んで挨拶をしている」(142P)などの項目は、高い評価を得ました。これらは、ご家庭と学校が日頃から連携を図り、また保護者の皆様の温かいご指導とご協力の賜物であると感じております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

一方で、「先生との相談や会話」(88P)、「授業中の発表」(94P)、「ありがとうとよく言われる」(104P)といった項目については、改善の余地がある結果となりました。今後は、授業における問いかけや発表の機会を工夫するとともに、休み時間なども活用し、子どもたちとの日常的な会話や関わりを大切にまいります。また、良い行動や係活動などで役割を果たした際には、「ありがとう」といった感謝の言葉を、これまで以上に意識して伝えてまいります。ご家庭におかれましても、温かい声かけへのご協力をお願いいたします。

なお、アンケート結果の詳細につきましては、本校ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

○保護者の方からいただいたご意見やご感想(要旨)

- ①学期末、学期始まりにゆとり時間を設けてくださっているのですが、共働きで家に祖父母もおらず、学童にも預けておらず、低学年の子がいるため、帰宅時間が早まるとそのために勤務時間に融通をきかさなければならず、少し困っています。子どもだけが家でいる時間を減らしたいので、できればこれまで通り、ゆとり時間は無くしていただくか、日数を減らしていただくと助かります。

ご家庭のご事情からご不便をおかけしており、心苦しく感じております。「ゆとり時間」につきましては、学期始めには児童の安全や生活リズムの回復に十分配慮し、学校生活にスムーズに適應できるようにすること、また学期終わりには成績処理を始めとする事務処理や会計処理に追われる教職員の働き方改革の観点から、教育委員会の方針に基づき本年度より実施している取り組みです。すべてのご家庭の状況に対応することが難しい面があることをご理解いただければ幸いです。いただいたご意見は今後の運用を考える上で大切に受け止め、引き続き工夫や改善の可能性を検討してまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

- ②お知らせなど大事な事もお手紙で頂きたいです。ラインネットは見落としも多くお知らせを知らないまま終わる事もあります。ペーパーレスなのは分かりますがよろしく願います。

貴重なご意見をありがとうございます。現在、連絡手段につきましては電子化を進めておりますが、お知らせを確実にお届けするという点で、ご不安があることも理解しております。今後は、特に重要なお知らせについては、紙と電子の併用を基本に検討してまいります。一方で、ペーパーレス化への取り組みも継続してまいりますので、その趣旨につきましてもご理解いただければ幸いです。今後も、保護者の皆様にとって分かりやすい情報発信に努めてまいります。

- ③通知表は前学期分もあわせて見れる状態(1枚もしくは1ファイル)でお渡しいただけると比較確認しやすいありがたい。

通知表の見やすさに関するご提案をありがとうございます。現在、通知表は県内の小中学校共通のシステムを使用して作成しており、現時点では形式を変更することが難しい状況です。ご不便をおかけし申し訳ありませんが、制度上の制約についてご理解いただければ幸いです。今後も、評価の内容や見方について丁寧な説明を心がけ、分かりやすさの向上に努めてまいります。

- ④遊園地への遠足は絶叫系アトラクションに乗れない子は乗れる子と同じ班だとほとんど楽しめず、乗れる子との満足度に大きな差があると感じる。

遠足における体験の差についてのご意見、ありがとうございます。班分けにつきましては、できる限り児童の希望や思いに配慮しながら行っておりますが、友だち関係と乗り物の好みが必ずしも一致しない場合もあり、すべての希望を反映することが難しい場合もあります。その中で子どもたちは、友だちと話し合いながら「どう過ごすか」「何を大切にするか」を考え、折り合いをつける経験を重ねています。こうした経験も、学校行事を通じた大切な学びの一つと考えております。今後も、児童一人一人が前向きに活動できるよう、事前指導や支援の工夫に努めてまいります。

- ⑤ホームページの更新が早いので行事の様子がとてもわかりやすいです。

温かいお言葉をありがとうございます。学校でのお子様の様子を少しでも分かりやすくお伝えできるよう、情報発信に取り組んでおります。今後も、できる限り早く正確な情報をお届けできるよう努めてまいります。引き続きご覧いただけましたら幸いです。

- ⑥担任、副担任の先生が優しいおかげで、楽しく学校に行く事ができています。

温かいお言葉をありがとうございます。お子様が安心して楽しく学校生活を送れていることは、私たち教職員にとって何よりの励みです。日々の学校生活の中で、お子様一人一人が前向きに過ごせている様子をうかがい、大変うれしく思っております。今後も一人一人の思いに寄り添いながら、よりよい教育活動に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしく願います。

その他にも、貴重なご意見や温かいアドバイスを多数いただいております。今後も教職員一同、教育の質の向上を目指し、子どもたち一人ひとりの成長を支えるため、日々研鑽を重ねてまいります。また、コンプライアンスの遵守や綱紀肅正を徹底し、保護者の皆様や子どもたちから信頼される教職員集団の育成にも努めてまいります。全校の教育活動がより良いものとなるよう、引き続き努力してまいりますので、来年度以降も、保護者の皆様と連携しながら、子どもたちの健やかな成長と豊かな学びを支えていきたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をよろしく願います。

学校評価アンケートの結果について(児童)

児童94名中94名(100%)の学校評価アンケートの回答です。

A：よく/とても B：まあまあ C：あまり D：まったく

| No. | アンケート内容 | A | B | C | D | A×2+B |
|-----|---|-----|-----|-----|----|-------|
| 1 | 「早寝、早起き、朝ご飯」ができています | 29% | 53% | 18% | 0% | 111P |
| 2 | 自分からすすんであいさつをしている | 51% | 41% | 9% | 0% | 142P |
| 3 | お家の人と話し合い、時間を決めて、テレビをみたり、ゲームをしたり できている | 40% | 38% | 20% | 1% | 119P |
| 4 | お家で、学校であったことを話している | 50% | 35% | 12% | 3% | 135P |
| 5 | 宿題は、必ずしている | 63% | 33% | 4% | 0% | 159P |
| 6 | 学校は楽しい | 45% | 47% | 6% | 2% | 136P |
| 7 | 友達がいやがることを、したり言ったりしないようにしている | 49% | 44% | 6% | 1% | 141P |
| 8 | ていねいな言葉づかいができています | 32% | 54% | 12% | 2% | 118P |
| 9 | 授業は、よくわかり楽しい | 36% | 49% | 14% | 1% | 121P |
| 10 | 授業中、すすんで手をあげている | 33% | 28% | 31% | 9% | 94P |
| 11 | 担任の先生は学校での様子や学習の内容などを懇談や学級通信、電話連 絡等を通してわかりやすく伝えている | 54% | 38% | 6% | 1% | 147P |
| 12 | 授業中、先生や友だちの話を聞いている | 38% | 53% | 9% | 0% | 130P |
| 13 | 休み時間、運動場などで遊んでいる | 50% | 26% | 18% | 6% | 126P |
| 14 | 先生にそうだんや、いろいろな話をしている | 22% | 44% | 30% | 4% | 88P |
| 15 | 先生は、自分ががんばったときにほめてくれる | 33% | 55% | 11% | 1% | 121P |
| 16 | 協力して、まじめにそうじをしている | 37% | 55% | 6% | 1% | 130P |
| 17 | ありがとうとよく言われる | 27% | 51% | 18% | 4% | 104P |

※四捨五入の都合上、合計が100%にならないこともあります

来年度に向けて

○評価が高いのは次の項目です。

(ポイントは、A×2+Bで算出)

2「自分からすすんであいさつをしている」(142P)

昨年度も高評価でした。児童が日常的にポジティブなコミュニケーションを心がけている様子が見えます。これは、日頃よりご家庭において継続的にあいさつの大切さをご指導いただいている成果であり、心より感謝申し上げます。学校においても、教職員が率先して声かけを行い、模範を示すことで、あいさつが自然に交わされる環境づくりを継続してまいります。この良い習慣が、学校のみならず家庭や地域へとさらに広がっていくよう、今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

5「宿題は、必ずしている」(159P)

この項目も昨年度同様に高評価でした。児童が家庭学習に真剣に取り組み、学習習慣として定着していることが確認できました。日々の声かけや励ましなど、ご家庭での粘り強いご支援の賜物であり、深く感謝申しあげます。今後も自主的に学ぶ力を育てていくため、学校では一人一人に応じた丁寧な支援と、学ぶことの楽しさが伝わる指導に努めてまいります。引き続き、ご家庭におきましても温かい学習支援をお願いいたします。

11「担任の先生は学校での様子や学習の内容などを懇談や学級通信、電話連絡等を通してわかりやすく伝えている」(147P)

この結果から、日頃より学校と家庭が連携し、お子様の成長や課題について共通理解を図りながら見守ることができていると受け止めています。今後も、学級通信や電話連絡、ホームページ等を活用した情報発信を継続し、より分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。また、年度初めや学期末には家庭訪問や個人懇談を通して、直接意見交換を行い、理解を深めていく予定です。引き続き、学校の取り組みに対するご理解とご協力をお願いいたします。

○評価が低いのは次の項目です。 (ポイントは、 $A \times 2 + B$ で算出)

10「授業中、すすんで手をあげている」(94P)

昨年度に引き続き、低い評価となりました。授業の中で自分の考えを発言することに、まだ自信を持っていない児童が多いことが要因の一つと考えられます。この点については、教師側の授業づくりや声かけ、学級づくりにおいて十分とは言えない部分があったと受け止めています。次年度は、少人数での話し合いや、発言の形を多様化するなど、誰もが安心して意見を表現できる授業づくりを進めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の考えを認め、自信につながる声かけをしていただければ幸いです。

14「先生にそうだんや、いろいろな話をしている」(68%)

この項目も昨年度同様に低評価となりました。児童が教職員に気軽に相談できていない現状について、学校全体として重く受け止めています。これまでの関わりや体制に十分でない点があったことを反省し、改善が必要であると考えています。今後は、休み時間や日常の関わりをより大切にし、児童との信頼関係づくりを一層意識して取り組んでまいります。また、学校全体で相談体制を見直し、児童が安心して思いを伝えられる環境整備を進めていきます。ご家庭におきましても、日頃からお子様の話に耳を傾けていただき、学校との連携にご協力をお願いいたします。

17「ありがとうとよく言われる」(104P)

何かをしてもらったり、助けてもらったりした際に、感謝の言葉を積極的に伝えることを大切にしていますが、十分に浸透しているとは言えない結果となりました。教職員自身が感謝の気持ちを言葉にして示す場面を増やすとともに、児童同士でも自然に『ありがとう』が交わされるような指導を行ってまいります。ご家庭におかれましても、日常生活の中で感謝の言葉を大切にする姿を共有していただければ幸いです。

今年度のアンケート結果から、児童一人一人が自己評価を通して自らの成長を振り返ることができている様子がうかがえました。高評価の項目は、日々の積み重ねが確かな成果として表れている証であり、家庭と学校が連携して取り組んできた結果であると考えています。一方、低評価となった項目については、学校としての関わりや取り組みに不十分な点があったことを真摯に受け止め、改善していく必要があります。特に昨年度と同様の課題が見られた点については、次年度に向けて重点的に取り組むべき課題として位置付け、学校全体で改善を進めてまいります。今後も、家庭と学校が同じ方向を向いて児童の成長を支えていけるよう、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校評価アンケートの結果について(教職員)

教職員14名中14名(100%)の学校評価アンケートの回答です。

A：とても思う B：そう思う C：あまり思わない D：まったく思わない

| No. | アンケート内容 | A | B | C | D | A×2+B |
|-----|---|-----|-----|-----|----|-------|
| 1 | 子供たちは授業に集中できている | 21% | 57% | 21% | 0% | 100P |
| 2 | 子供たちは授業の内容を理解できている | 7% | 93% | 0% | 0% | 107P |
| 3 | 子供たちは授業中よく発表している | 36% | 36% | 29% | 0% | 107P |
| 4 | 子供たちは授業中、友達の意見を聴くことができている | 21% | 50% | 29% | 0% | 93P |
| 5 | 子供たちは学校が楽しいと言っている | 50% | 50% | 0% | 0% | 150P |
| 6 | 子供たちは友達と仲良くできている | 21% | 79% | 0% | 0% | 121P |
| 7 | 校内や学級の掲示は学習の取り組みがよく表れるよう工夫されている | 29% | 64% | 7% | 0% | 122P |
| 8 | 教室は整理整頓されており、清潔感を感じる | 29% | 57% | 14% | 0% | 114P |
| 9 | 校舎内外の施設設備の補修・整備が整い、安全な教育環境が保たれている | 14% | 71% | 7% | 7% | 100P |
| 10 | 学校はお手紙や、通信、ホームページなどを通して教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている | 36% | 64% | 0% | 0% | 136P |
| 11 | 担任の先生は学校での様子や学習の内容などを懇談や学級通信、電話連絡等を通してわかりやすく伝えている | 29% | 71% | 0% | 0% | 129P |
| 12 | 学校が保護者等に出す文書・事務連絡は適切であり学校の活動の様子がよく分かる | 36% | 64% | 0% | 0% | 136P |
| 13 | 学校が行っている保健・安全対策は、適切である | 43% | 57% | 0% | 0% | 143P |

※四捨五入の都合上、合計が100%にならないこともあります

次年度に向けて

- 授業のあり方や浦庄スタイルについて、校内研修等を通して共通理解をより一層深めるとともに、互いの授業を積極的に参観し合うことで、教職員一人一人の学びと授業力向上につなげていく必要がある。
- 支援員の先生の勤務時間の関係で職員会や終礼に参加できない場合があるため、会議録や共有ツールを活用し、情報の行き違いが生じないよう、より丁寧な連携を図っていく。
- 小規模校という特性を生かしつつ、これまで以上に「チームとして学校運営に取り組む意識」を高めていく必要がある。担当が個人に偏りがちなため、前年度の担当者や他校での経験をもつ教職員が積極的に声をかけ、情報や実践を共有することで、孤立を防ぎ、異動時にも円滑に引き継ぎが行える体制づくりを進めていく。
- 報告・連絡・相談の大切さや、風通しのよい職場づくりは、日々意識し続ける必要がある基本的な事項である。親しさや馴れ合いは異なることを踏まえ、互いに支え合いながらも、必要なことは適切な伝え方を工夫し、きちんと伝えていく姿勢を大切にしていく。
- 会議資料については、電子化をさらに進め、事前に資料を確認した上で会議に臨むという共通認識の定着を図る必要がある。運用面では改善の余地があり、次年度はより実効性のある形を目指していく。
- 学年だより作成にあたっては、様式のフォーマット化と共有を進め、同じ作業を個々で繰り返すことを減らす。そこで生まれた時間を、子どもたちの活動の充実や内容の質の向上に充てていく。また、教材や指導案のデジタル化、フォーマットの活用を進め、授業準備の効率化と教育の質の向上の両立を図っていく。

保護者の皆様へ

本校では、教職員一同が日々の実践を振り返り、よりよい教育活動の実現に向けて改善を重ねております。こうした取り組みを進めていくためには、保護者の皆様のご理解とご協力が欠かせません。今後とも、学校の教育活動への温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。